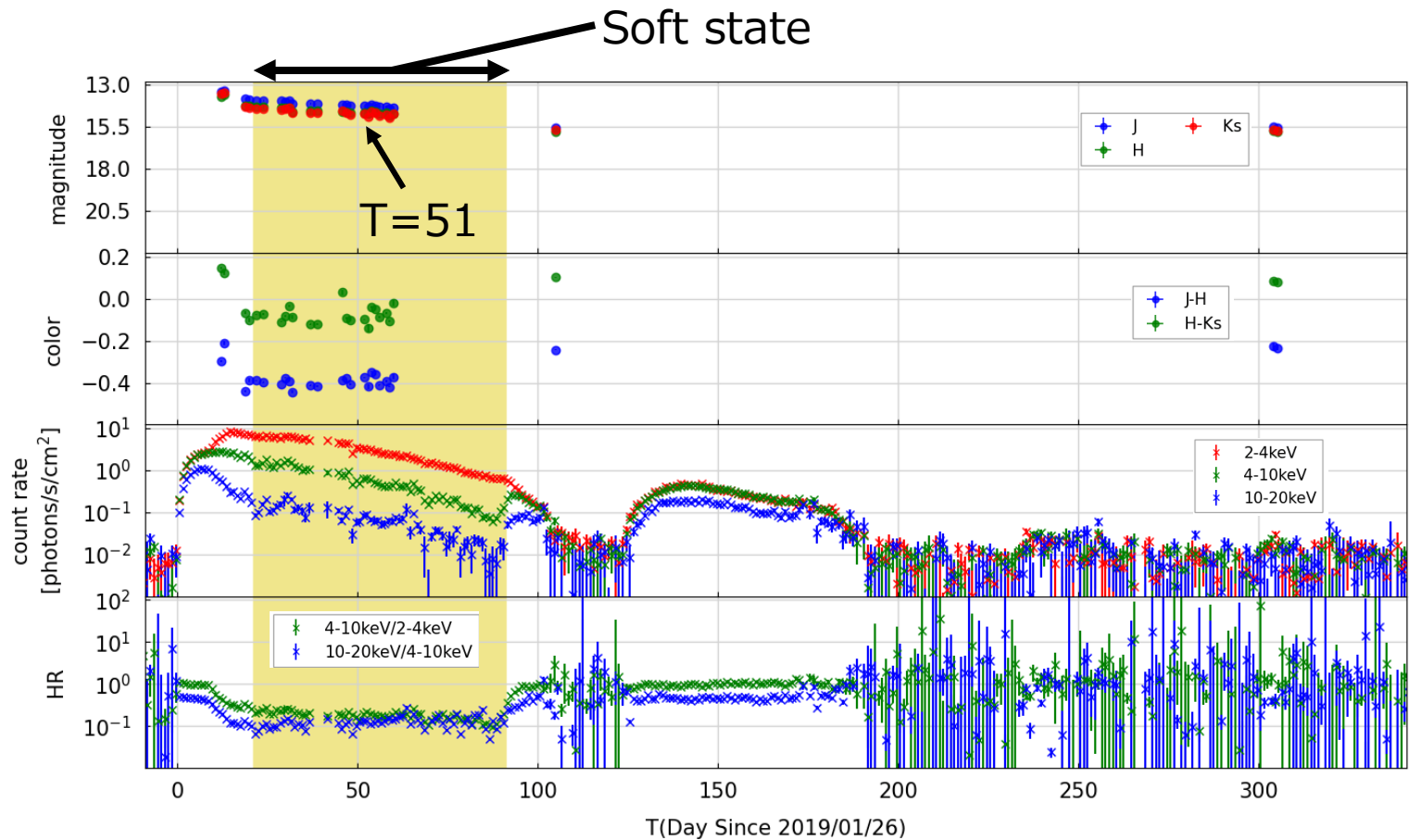


ブラックホールX線連星  
MAXI J1348-630の  
特異な近赤外線短時間変動

河合・谷津研究室 高松裕

# 光度曲線



観測の大半がX線soft状態  
短時間変動が期待されていない

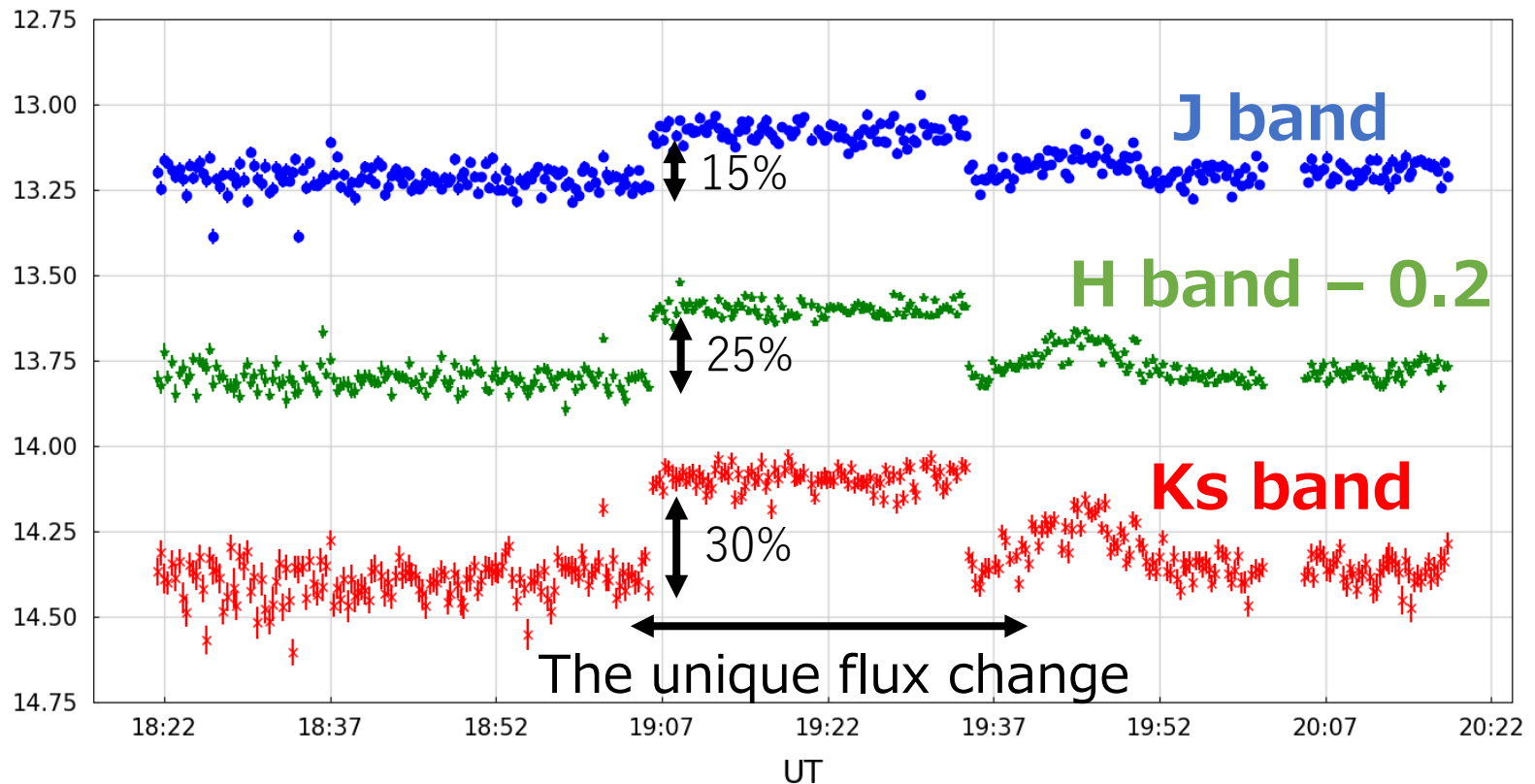
# 光度曲線(T=51)

特徴的な光度変化が観測された。

1点10秒積分、7秒オーバーヘッド

特徴：①17秒で増光、増光状態が30分継続、17秒で減光

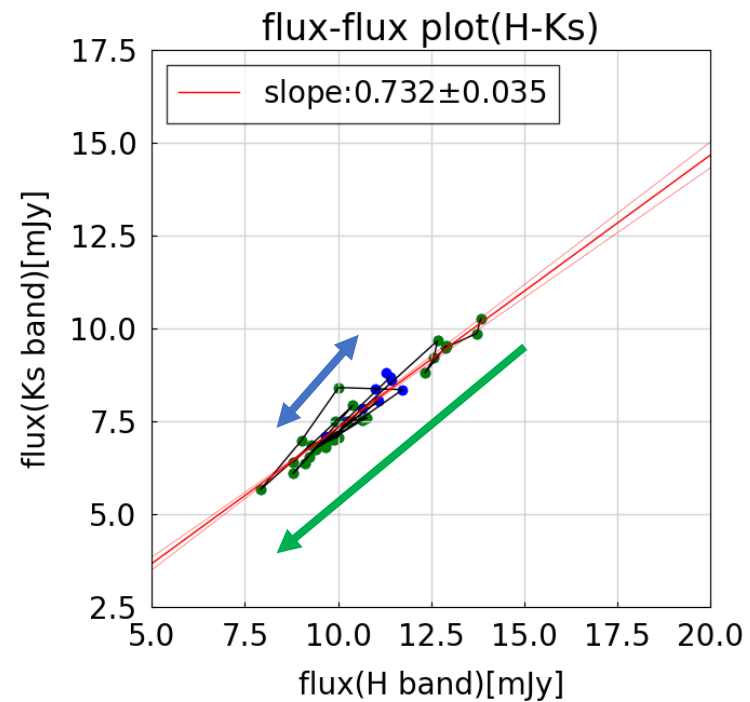
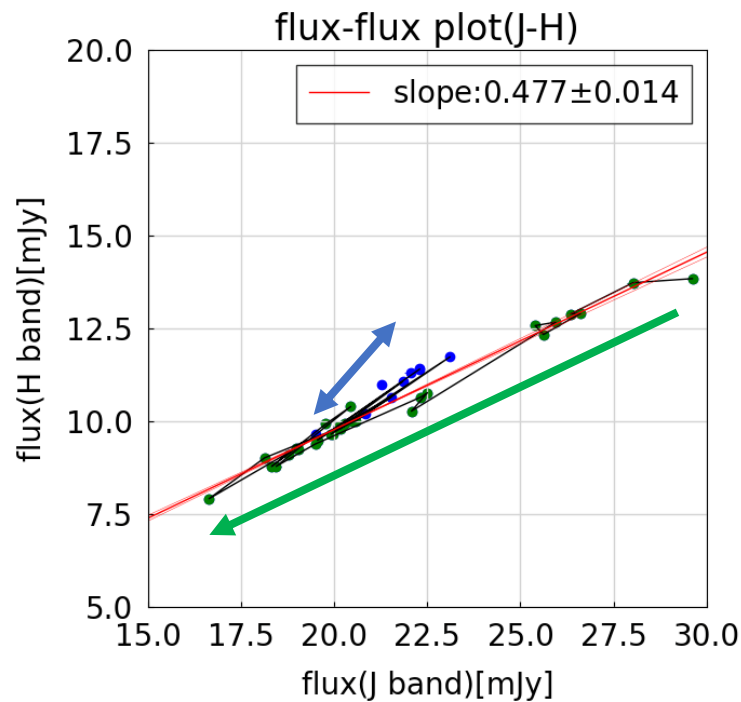
②長波長側ほど増光幅が大きい



# 短時間変動と長期変動の関係

観測日1日のFlux平均(ただし、短時間変動の発生日は増光部と減光部を分ける)の相関を見る

→1日内の短時間変動と、Soft状態全体を通じた長期変動の2つは別成分のようだ



# X線と近赤外線的相关

赤線は全点、緑線はsoft状態の点のみでフィッティング  
(1日1点)

- 2~4keVでは近赤外線とsoft状態で良い相関
- 10~20keVとの相関は緩め

